

予防接種について

《 ジフテリア・百日せき・不活化ポリオ・破傷風(DPT-IPV)第1期 》

ジフテリアとは？

ジフテリア菌の飛沫感染（のど、鼻）で起こります。無症状の保菌者から感染することもあります。

症状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などです。窒息死や菌からの毒素で心筋障害や神経麻痺を起こすこともあります。

百日せきとは？

百日せき菌の飛沫感染で起こります。普通のかぜのような症状からせきがひどくなり、笛を吹くような音が出ます。乳幼児はせきで呼吸ができず、唇が青くなったり、けいれんが起こることもあります。肺炎や脳症などの合併症を起こしたり、乳児では死亡することもあります。

ジフテリア・百日せき・不活化ポリオ・ 破傷風混合(DPT-IPV)ワクチン

第1期として20日以上（標準として20日～56日）の間隔をあけて初回3回接種後、6か月以上（標準として1年～1年半）の間隔をあけて追加を1回接種します。

第2期として小学校6年生時にDT（ジフテリア・破傷風）二種混合ワクチンを1回接種します。

破傷風とは？

土の中にいる破傷風菌が、傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。菌が体内で増えるとその毒素によって口が開かなくなったり、けいれんを起こしたり、死亡することもあります。土中に菌がいるため、感染する機会は常にあります。

ポリオとは？

ポリオ（急性灰白髄炎）は「小児まひ」と呼ばれます。口の中から入ったポリオウイルスが咽頭や小腸の細胞で増え、便の中に排出されて他の人に感染していきます。感染者のほとんどは無症状ですが、約1000～2000人に1人の割合で手足の麻痺があらわれます。一部の人には、その麻痺は一生残ります。

DPT-IPV ワクチンの副反応

接種部位の発赤、しこり、はれ、発熱が主な副反応です。しこりは少しずつ小さくなりますが、数か月残ることがあります。

重い副反応はなくても、機嫌が悪くなったり、はれが目立つときなどは医師にご相談ください。